

富士山！万歳！！

8月3日（水） ～ 8月6日（土）

IN 静岡県立富士山麓山の村～赤岩八号館

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発・作戦会議	作戦会議・買い出し	最終確認
2日目	富士山に向け出発	八号館に向けて出発	山荘到着・仮眠就寝
3日目	富士山下山開始	五合目以下山	振り返り
4日目	プール	関西に向け出発・解散	

一日目： 尼崎から長い時間をかけて富士宮市へ向かいます。途中、名札を作ったり、自己紹介をしたりしてみんなとの距離を縮めました。長篠SAにて昼食を済ませ、予定より少し遅れて富士宮市に入りました。施設へ向かう道中で、富士登山に必要な水や、携帯食、カイロなどを購入しました。何がどれだけ必要なのか、本当に必要なのかをじっくり話し合い決めました。施設に到着すると、すぐに夕食の準備を行いました。今夜のメニューは「富士山に勝つ！」という意味を込めて、“カツカレー”です。食後は富士登山に向けてミーティングを行いました。ルートや持ち物の確認、経験者の言葉など、どれも大切な事であり、それに対して真剣に話を聞かれています。その後は明日必要な荷物を誰が何を持つのか話し合い分けました。



二日目： 大きな挑戦の一日です。朝からみんなの様子がそわそわとなかなか落ち着きがありません。朝食を済ませ、荷造りです。昨日の夜に話した内容からなにが必要なのかを自分達で考えて詰め込みました。不安な部分は大きかったのですが、メンバー同士で荷物を確認しあい、サポート、フォローされている様子が伺えました。お弁当を受け取り、ついに出発です。今回は富士宮五合目から上がり、宝永山を経て、御殿場ルートに向かう“プリンスルート”を歩きます。五合目で弁当を食べ、一時間ほど滞在し、体を慣らしてから出発しました。歩いて早々通り雨が降ってきましたが、すぐにカッパを着用し、雨に負けずに進みました。天気が味方してくれているのか、雨は止み、風はあまり吹かず、最高のコンディションでした。宝永山を少し予定より遅れて過ぎ、御殿場ルートに差し掛かりました。この時点で標高は2800mあります。みんなのテンションは下がり調子でしたが、その時こそ声を掛け合い、お互いに支え合い登って行きました。七合目到着時は18時を過ぎ、徐々に日が沈みかけています。しかし、誰一人あきらめの顔はなく、全員ゆっくりではありますが、確実に登って行きました。そして、ついに今回の宿泊地である『赤岩八合館』に到着しました。山荘に到着するなり夕飯のカレーライスをいただきました。お疲れが色濃く出ていましたが、カレーと暖かいお茶に少しずつ安らいでおられました。食後は、明日の準備と山頂郵便局より各ご家庭へ送るハガキを書きました。深夜の出発なので早々に床に就きました。



三日目： 午前1時より活動が始まりました。昨日からの疲労もあり皆眠たそうにされていますが、「山頂からご来光を見たい」という想いのもと山頂を目指す身支度を済ませ、出発しました。麓の街の灯りや満点の星空を見ることが出来、喜びを共有しました。夜のうちに上がっていくため、ライトで足元を照らさないと何も見えません。また、気温も5℃以下と非常に過酷な環境下です。そういった中で友達からの「頑張ろう！」という一声で救われている様子を沢山伺えました。徐々に東の空が青白くなってきて、空も明るくなってきました。さきほどまで満点の星空でしたが星は見えなくなり、日の出の時間が迫ってきています。体力も限界に近づいて来ていますが、その中で重たい足を一步步ずつ前へ運び、ようやく十合目に到着することが出来ました。しかし、既に日は出ており、日の出を見ることは出来ませんでした。その事にショックを受けている方や、呆然としているメンバーもおられました。朝日はみんなの疲れた体を暖かく照らしてくれました。日の出を見ることは出来ませんでした。 “山頂郵便局”にてハガキを投函し、もう一つの目的地である『剣ヶ峰』へ向かい、全員で富士山の山頂に登頂する事が出来ました。登頂後は少し休憩を挟み、下山しました。山荘に戻ってきてから、遅めの朝食をいただき、預けた荷物を詰め込み、御殿場ルートを下りました。頑張ったみんなへご褒美として、下りは「大砂走り」ルートで帰りました。足場が砂で、直線コースのため、走って一気に下って行きました。途中、こけるメンバーもおられましたが、こけても楽しそうに笑顔いっぱいでした。登山中の疲れの顔は一切出さず、みんなで和気あいあいと下り、気がつけばメンバー同士で楽しそうに会話をされていました。施設に戻ってきてから、荷物の片付け、食事の準備を慣れた手つきで素早く行い、いつも以上に箸が進んでいました。夜はキャンドルファイアを行いました。これまでの振り返りとして、撮った写真を見て、富士登山を思い出しました。写真には徐々にメンバー同士の距離が近づいている様子が十分に感じ取れました。その後は、一人ずつ発表をしていただきました。「富士山から学んだこと」、「富士山の経験を何に活かされるか」、「また富士山に登りたいか」を言っていただきました。みんな、言葉を特に飾らず、ありのままの正直な気持ちを発表されていました。



四日目： 前日までの怒涛のプログラムから一転、穏やかな朝を迎えました。退所の為に起床後すぐにシーツや布団の片付けを済ませ、朝食後も清掃や荷物の搬出など沢山のやる事を済ませました。施設を出発し、みんな楽しみにしていたプールへ向かいました。スライダーや流れるプールなどがあり、今までの疲れが吹き飛ばすほど存分に楽しみました。SAにて昼食を済ませ、お楽しみ第二弾として、お土産購入タイムです。頼まれているお土産を買ったり、家族のために買ったり、自分のご褒美として買ったりされていました。お土産購入後は関西に帰りました。帰りの車内も話をしたり、DVDを観たり、終始大盛り上がりでした。



<キャンプ総括>

今回は3つの目標を掲げて挑戦しました。“ご来光を見る” “山頂郵便局からハガキを送る” “剣ヶ峰に登頂する” です。その為にメンバーに前もって数々のアドバイスを伝えましたが、それでも登って見ないと分かりません。毎回登った後、『富士山の魅力は口では絶対に伝える事が出来ない』と感じます。登って降りてくる短期間で苦労やしんどさ等あらゆるマイナス面と、喜びや楽しさ、嬉しさといったプラス面を同時に体験します。それが富士登山の意味だと私は思います。だからこそ富士登山が大きく成長するきっかけとなり、また一つご成長されることだと考えています。3つの目標を達成するために登りましたが、出来たかの有無はあくまで結果であり、それに対するプロセスがこのキャンプの一番肝心のポイントです。メンバーご自身にキャンプを通して自身が成長している事を感じていただけたかと思います。来年も登ります。また一緒に登れる事を楽しみにしています。本当にお疲れ様でした。(竹中 哲郎)